

バリ島出身

山口 ワヤンさんと わくわくティータイム

9月16日(土)にイーグレひめじにて、「バリ島出身 山口ワヤンさんとわくわくティータイム」を開催し、21名が参加しました。講師はインドネシアのバリ島出身で、国際理解出前講座講師の山口 ニ ワヤン リンブンさんです。

まず、インドネシアやバリ島の地理などについて説明があり、バリ島がどのようなところか学ぶことができました。



その後、バリ島の伝統的なお菓子であるボルククス(蒸しケーキ)を調理しました。ホットケーキミックスにココナッツアーモンドミルクなどを入れ、パندانという東南アジアで使われる甘い香りのするハーブやミルクココアパウダーを混ぜて、カラフルなボルククスを蒸しあげました。

調理後、ワヤンさんが各調理台をまわり、テータリックの作り方を実演しました。「テー」はお茶、「タリック」は引っ張るという意味で、2つのカップを両手に持ち、

ミルクと紅茶をカップに移しかえながら混ぜ合わせます。ワヤンさんの上手な手つきに参加者からは、歓声があがりました。

調理後は、ティータイムを楽しみながら、バリ島の食べ物や行事、儀式などの話がありました。“神々の島”とも言われるバリ島の文化は、人々の生活と宗教が密接に関わっていて、独特の伝統があります。特に成人式で歯を削る話には、驚きの声があがりました。



日本人にとって、人気の旅行先の1つであるバリ島ですが、観光では知ることができない現地の伝統や文化について学び、バリ島をより身近に感じることができる講座でした。

今回の講座を通じて、参加者のみなさんが、インドネシアの文化に興味を持ち、日本の文化についても改めて見なおす機会となることを願っています。